

2012年度研究部会活動記録

部会主任名	船木 由喜彦	現代政治経済研究所
研究課題：経済における期待形成の数理分析		
月/日	活 動 記 録	
	今年度はG-COE GLOPE2の最終年度であったため、そのまとめ作業と重なり、共催のセミナーを実施する機会が減少した。それにも関わらず、下記の内外の著名な研究者や新進の若手研究者によるセミナーを8回開催し、さまざまな、議論を行うことができた。本研究部会は2012年度で終了したが、これらの成果の一部は永田・船木編『リーディングス：政治経済学への数理的アプローチ』（勁草書房）として2013年3月に出版された。これはGLOPE2との共同事業である。	
4/26(木)	Noemí Navarro (Université de Sherbrooke) “How to Add Apples and Pears: Non-Symmetric Nash Bargaining and the Generalized Joint Surplus”	
5/17(木)	星野 匡郎氏 (東京工業大学) “Estimation of Semiparametric Binary Choice Models with Missing Response Data”	
6/7(木)	庄司 匡宏氏 (成城大学経済学部) “Guilt Aversion and Peer Information in Crime: Evidence from Experiment and Survey Data in a Developing Country”	
7/5(木)	糟谷祐介氏 (Northwestern University) “Anti-bullying School Choice Mechanism Design”	
8/3(金)	穂刈 享氏 (慶応大学教授) “Anti-duality in TU-games applied to solutions, axioms, and axiomatizations”	
11/1(木)	Jeffrey Kline (The University of Queensland) “Evaluations of the Epistemic Components for Resolving the Muddy Children Puzzle”	
12/20(木)	浅古泰史氏 (早稲田大学) The Boy who Cried Bubble: Public Warnings against Riding Bubble (with Kozo Ueda),	
1/10(木)	Charles Noussair (Tilburg University) “Bubbles and Crashes in Experimental Asset Markets: Fundamental and Emotional	

3月	Processes” 『リーディングス：政治経済学への数理的アプローチ』出版
終了の場合	研究成果刊行の時期： 2013年3月 および 2014年3月（予定） 研究成果の公開方法： 成果の一部は永田・船木編『リーディングス：政治経済学への数理的アプローチ』（勁草書房）として2013年3月に出版した。その他の成果は2014年3月までに、論文として様々な査読誌や論文誌において発表する予定である。